“お気軽排泄講座”に参加してみませんか？

なかなかわかっているようで分からない排泄のこと。色々な排泄用具に触れながらちょっと勉強してみませんか？

日　　程　：　9/7、10/12、11/9、12/7
時　　間　：　14 時から 16 時まで
場　　所　：　むつき庵
対 象 者　：　一般の方
定　　員　：　12 名
費　　用　：　1回 500 円（当日集めます）
申込方法：　氏名、年齢、住所、電話、参加日時を記載の上、電話・FAX・はがき・メールのいずれかでお申込ください。

	テーマ	日　時 14:00～16:00
第1回	もれが起こったらどうするの？ ～排泄のしくみ～	9 月 7 日(水)
第2回	もれ対策で変わらない生活を	10 月 12 日(水)
第3回	知って安心、排泄用具	11 月 9 日(水)
第4回	ちょっとした工夫で介護を楽に	12 月 7 日(水)

みなさんの知恵を募集します！

「排泄ケアに関わるアイディア」「日常生活に関わるアイディア」
「こんな記事を載せてほしい」等
ご意見・ご感想・ご希望をお待ちいたしております。
EメールおよびFAXで受け付けております。お名前・ご連絡先・内容を明記の上お送りください。

開館日のご案内

開　館　日	月曜日から土曜日
開 館 時 間	午前 10 時から午後 5 時 30 分まで
月・火 曜 日	※予約の研修会、勉強会、見学会
水　曜　日	個別相談日(要予約で 1 時間 1000 円)
木・金・土曜日	一般者来館日
休　館　日	日曜・祝日

※月曜・火曜日の予約の研修等は有料となっております。
　詳しくは、むつき庵までお問い合わせください。

スタッフより一言

- 施設の方々と排泄ケアに取り組んでいます。画期的に変化してきて、嬉しいです。（浜田）
- オープンより2回目の夏を迎えますが、オムツで過ごされる方にとっては不快な時期ですね。最近はオムツメーカーさんが提供する商品にも通気性に配慮されたモノがあります。水分はしっかり摂って、体調にはくれぐれもご自愛なさいますように。（木寅）
- 今年こそ浴衣を着る、花火大会に行く、泳げるようになる、海に行く、川床にいく・・・このうちいくつできるでしょうか。（中友）
- 本格的に暑くなってきた今日この頃、皆様どうお過ごしでしょうか？もし京都にお越しになることがございましたら涼みがてらぜひ「むつき庵」へお立ち寄りください。（豊後）
- 皆さんが待っていて下さる、そして私に出来る仕事のある事に感謝してこれからも頑張って参ります。（岡田）
- 通信誌初登場の菊地です！ むつき庵には坪庭があるので、四季折々の変化を見ることができ、とても癒されています。（菊地）

むつき庵へのアクセス

地下鉄
京都駅から地下鉄「烏丸線」で
丸太町駅下車　徒歩12分。

バ　ス
いずれも堀川下立売バス停下車西へ徒歩3分。
●JR京都駅から市バス⑨番 西賀茂車庫行き
●JR京都駅から市バス⑤⓪番 立命館大学行き
●京阪三条駅から市バス⑫番 立命館大学行き
●阪急烏丸駅から市バス⑫番 立命館大学行き

タクシー
JR京都駅から約15分。（1,500円程度）

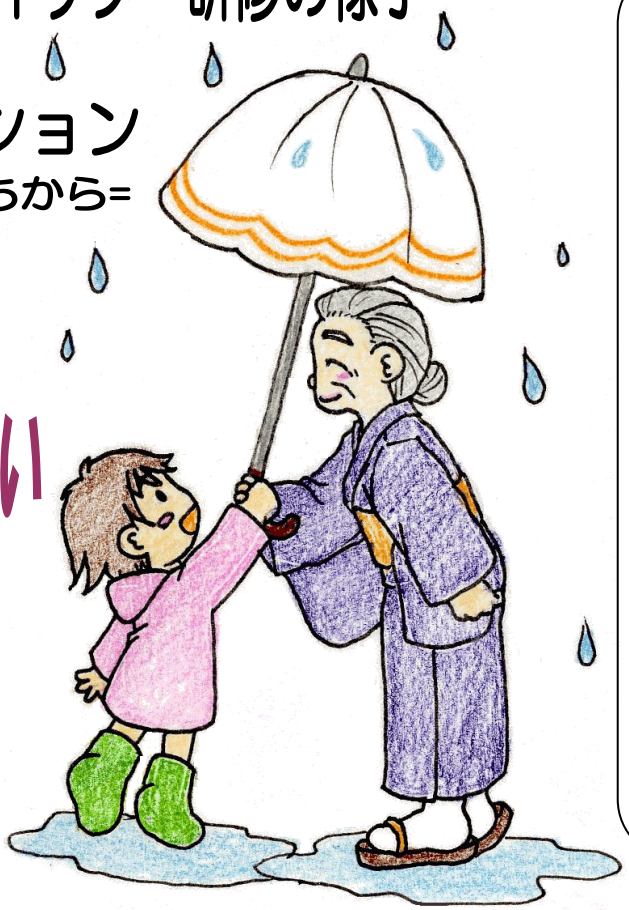
むつきあん
株式会社 排泄総合研究所
〒602-8123 京都市上京区下立売通黒門西入橋西二町目648
むつき庵は(株)排泄総合研究所が運営をしております。
Tel.075-803-1122　Fax.075-803-1123
URL http://www.mutsukian.com　E-mail info@mutsukian.com

●排泄用具の情報館●

通信№3

むつきあん

オムツフィッター研修の様子



コミュニケーション
=助聴器のちから=

夏の排泄ワンポイント

“話してみよう”の集い

“お気軽排泄講座”
のお知らせ

むつき庵の活動

- ◇ ポータブルトイレ等、排泄用具の展示
- ◇ 約200種類の紙・布オムツを展示
- ◇ 排泄についての困り事・相談を受け、助言と適切な情報の提供
- ◇ 暮らしを支える優れた道具の展示や紹介
- ◇ 出張研修・社内研修の開催
- ◇ オムツフィッター研修の開催
- ◇ 施設での排泄ケアの助言
- ◇ 用具のモニタリング及び提案
- ◇ ほそぼそと販売

賛助会員・協賛企業募集中!

浜田エッセイ

私は映画をみるのが大好き、仕事が忙しいときも、気分転換のつもりで映画を見に行きます。地味系？の映画が好きで、お気に入りはケンローチの「大地と自由」ギュネイの「群」や「路」（こういうの誰も知らないかなあ）。最近では「イブラヒムおじさんとコーランの花たち」もお勧めです。ちなみに主人公のイブラヒムおじさんを演じているのは、アラビアのロレンスのオマーシャリフ。こんなふうに素敵に年を重ねているんだ、と思いました。おばあさんが主人公でよかったのは韓国映画「おばあちゃんの家」。もしビデオがあったら是非みてください。

映画では、登場する人のそれぞれの思いが透けて見えます。主人公に身を置いたり、相手役に気分を重ねたりしながら、それらを私たちはいわば上から眺めています。そのうえで結末を知るわけです。

でも現実には、誰もそのような視点は持てっこありません。空中に浮かぶシャボン玉が私だとして、私からは相手のシャボン玉は見えても、自分を眺めることはできません。それに相手のシャボン玉に取って代わることもできません。狭い「私の視点」から、人と出会い、何らかの形でかかわっていくのです。映画を見るように、全体を俯瞰できたらどんなにいいでしょう。

人と出会うということは、だからこそその分からなさを抱えながら、ゆっくり向き合っていくことだと思います。私たちの場所に来られる方々とも、そのことをふまえながら丁寧に出会ってみたいと思うこのごろです。